



100年先も輝く東広島市
日本一子育てしやすいまち

木村てるえ の戦略

目的

- 100年先も輝く東広島市
- 先輩方が築かれた東広島市を受け継ぎ、子ども達に魅力的な"ふるさと東広島市"を残す

目標(2034年まで)

- 「日本一」子育てしやすいまち東広島市
- 人口20万人以上の中核市、近隣市町を含めた活力の拠点
- 保健所・児童相談所の設置

戦略

- 子育て支援施策の充実から人口増および市の発展につなげ、全世代の利益とする

＜重点項目＞ 児童館(遊び場+多世代交流+こども相談+ネウボラ)、無料給食、学童保育における長期休み期間中の昼食提供、18歳までの医療費助成、児童虐待に対する支援の拠点、産前産後の母体ケア、オムツ定期便および伴走型の相談支援、保育士の増加と業務支援、女性と子どもに配慮した防災計画

戦術

「木村てるえ」が

- 母親・地域の代弁者となる
- 母親・地域にとって市政を身近なものにする
- 母親・地域の声と想いが「つながりめぐる」仕組みそのものとなる



プロフィール

- 39歳 4児の母親
- 高屋町中島在住 宮崎県高千穂町生まれ
- 宮崎県立高千穂高校を卒業後、筑紫医師会の看護学校へ就職進学し、看護職員として医療機関、介護施設等で勤務
- 結婚と子育てを機に、夫の地元である高屋町に移住
- 子育てのかたわら、東広島市ファミリーサポートセンターの協力会員として、地域の子どもを預かる
- 東広島市生涯学習課「親の力を学び合う学習プログラム」のファシリテーターとして活動する中で、様々な悩み想い考えを耳にするようになり、「この声を届けなければならない!」と思うようになる
- 子ども食堂などのボランティア活動を月1回
- 特技は、人と人をつなぐこと。イベント企画や悩み相談、またはその橋渡しをすることが多い
- 2020年、廃止となる「子どもの居場所」存続のため、署名2521筆を東広島市長に届ける

母親・地域の声と想いが
つながりめぐる
日本一子育てしやすいまち



39歳4児の母

木村 てるえ